希望新聞

東日本大震災希望新聞取材班
〒100－8051（住所不要）毎日新聞生活報道部
ファクス03・3212・5177
メールkibou@mainichi.co.jp

被災地に役立つ情報や「伝言板」への投稿をお待ちしています。被災者の今困っていることも募集します。投稿は、氏名、住所、年齢、職業、電話番号（あればメールアドレスも）を明記してください。

伝言板

▼福島県相馬市が実家の旧姓佐藤秀子さん(54)へ　友人の青森県五所川原市の佐藤（旧姓須崎）八重子さん(54)が捜しています。高校卒業後に勤務した東京・池袋の「川村ドレス」の寮で一緒でした。その後、老舗和菓子屋「鶴屋八幡」に勤めた後、東京で結婚したそうです。「実家は大丈夫でしたか。一度帰省途中に泊めてもらいました」が、猪苗代湖まで車で1時間の山の中でした。希望新聞のファクス（03・3212・5177）に連絡ください

▼おすし屋さん無事でした　3月29日掲載の宮城県石巻市の「寶来寿司（ほうらいずし）」の皆さんは無事でした。捜していた東京都の田村宏子さんに5月1日、電話がありました。経営していたのはお母さん(70)と息子さんで、店は津波で浸水し水道しか復旧せず、再開の見通しは立っていないそうです。田村さんの弟は映画「お菓子放浪記」の監督を務め昨秋、ロケで宮城県を訪れました。「弟と母と食べたおすし屋さんが無事で、ほっとしました」

×　×

▼地震当日の学校を振り返るシンポジウム　7日13時半～15時半、東京都小金井市東町の都教職員組合北多摩東支部教育会館（JR東小金井駅徒歩5分）で、「学校を安全・安心のよりどころに」が開かれます。無料。パネリストは都内の公立小、中学校教師や保護者、保育士らです。

都内の学校は、子どもの引き渡し完了が翌日未明に至ったうえ、帰宅困難者に非常食を配布する役割が求められました。また都内に避難した被災地の子どもには、学習の遅れが見られます。地震当日とその後の現状を報告し、学校の役割と限界を考えます。問い合わせは北多摩東教育センター（042・384・2941）。

「本を読み 心の成長を」

文化は子どもの「心の栄養」です。子どもたちは本を通して成長します。本は「常に」大切な存在だと考えています。

子どものころ、自分の世界観を一番広げてくれたのは本でした。本には先生たちが教えてくれないことがたくさん書かれてあったんです。中学の時に偶然書庫で見た文庫本からは大人の世界を垣間見ることができました。

本は一度読んで終わりでなく、読めば読むほど中身が理解でき深い関係を養っていける面白いものです。そんな本を何冊持っているかが、子どもたちが成長した時に大切な経験となっていきます。

被災地の子どもたちには、本当に心の栄養となる本を届けたいです。気持ちに寄り添い、読んだ後に「よしやるぞっ」と勇気がわくような本を。そして、大人たちも子どもと一緒に一冊の本を読む経験を共有して成長してほしいと思っています。【細川貴代】

大阪国際児童文学館特別顧問
中川正文さん(90)

東日本大震災で被災した子どもたちに贈る児童図書を購入するため、郵便振替による寄付金を募ります。口座は毎日新聞大阪社会事業団（00970・9・12891）。通信欄に「子どもの本」と明記を。問い合わせは財団法人大阪国際児童文学館「東日本大震災『いっしょだよ』キャンペーン」事務局（06・6744・0581）。

主催　（財）大阪国際児童文学館、大阪府書店商業組合、毎日新聞社、毎日新聞東京・大阪・西部社会事業団

サポート情報 ～東日本大震災～

4日現在

医療

△岩手県▽
宮古、釜石、気仙地区の休日当番医は次の通り。5日＝加賀谷消化器科内科医院（釜石市）、いとう耳鼻咽喉科クリニック（大船渡市）▽8日＝加賀谷消化器科内科医院（釜石市）、吉浜診療所（大船渡市、内科）

△宮城県▽
県休日・夜間診療案内▽仙南地区☎0224・53・3409▽仙台地区☎022・216・9970（仙台市内は☎022・216・9960）▽大崎、栗原、登米地区☎0229・24・2267▽石巻地区☎0225・95・3290▽気仙沼地区☎0226・24・2154

福島第1原発事故に関する健康・医療相談窓口☎022・211・3323。宮城県庁1階。受付時間は9～17時。

△福島県▽
救急医療情報案内サービス☎0120・963・990

△茨城県▽
救急医療情報システム☎029・241・4199

■歯　科

岩手、宮城の県歯科医師会が沿岸地域の避難所を中心に巡回診療をしている。

△岩手県▽
5日＝山田北小（10～12時）、大沢小（14～16時）▽6日＝山田高（10～15時）▽7日＝大浦漁村センター（10～12時）、瑞然寺（14～16時）▽9日＝織笠小（10～12時）、陸中海岸青少年の家（14～16時）

△宮城県▽
移動診療車による巡回診療を連休中も続ける予定。山元町役場隣、南三陸町平成の森（いずれも9～16時）、鹿妻小（10～12時）、渡波小（13～15時）

労働・雇用

被災者を対象とした出張相談が避難所などで開かれている。労働基準監督署やハローワークなどの職員が雇用や賃金、労災保険などの相談に応じている。

△岩手県▽
10日＝大槌町中央公民館（10～15時）▽11日＝山田町商工会、野田村役場村民ホール（いずれも10～15時）▽12日＝陸前高田商工会仮事務所（11～14時）

△宮城県▽
10日＝ふれあいエスプ塩釜（10～17時）▽11日＝中新田交流センター（15～17時）▽12日＝唐桑総合支所（10時半～12時半）、小原木小（13時半～15時半）▽13日＝本吉総合体育館（11～15時）

△福島県▽
6日＝パルセいいざか（13時半～15時半）▽10日＝丸峰観光ホテル（10～12時）、大川荘（13～15時）、須賀川アリーナ（10時～11時半）、白鳥温泉春木屋（13時半～15時）、白鳥温泉喜楽苑（15時～16時半）、道の駅南相馬（10～15時）▽11日＝湯本温泉松柏館（13時半～16時半）▽12日＝かんぽの宿いわき（13時半～16時半）、裏磐梯猫魔ホテル（10～12時）、グランデコスノーパル寮（13時半～15時半）▽13日＝野地温泉ホテル（13時半～15時半）

避難所の体育館から手をつないでお風呂へ向かう親子連れ
＝福島市のあづま総合運動公園で4日午後3時52分、竹内幹撮影

商業施設

宮城県のスーパーなどの営業状況は次の通り。

イオン　イオン、マックスバリュなどの全店が何らかの形で再開。屋上で営業していたイオン気仙沼店は、2階で一部オープン。10～19時。同石巻店は全館で営業。18日までメリーゴーラウンドなど子供向け乗り物が無料。10～21時。同多賀城店はマックスバリュ多賀城鶴ケ谷店駐車場（多賀城市鶴ケ谷1）で食料品、衣料品などを販売。9～18時。商品がなくなり次第終了。イオン利府店は1階のみ営業。9～21時。同塩釜店は店横の「しおかぜ通り」で毎週土日9～15時、近隣商店などと共同で朝市「塩釜復興市」を開催。また、福島県の南相馬店が6日10時、営業を再開する。

ウジエスーパー　石巻店が再開し、30店で営業中。志津川駅前店は再開のめどが立っていない。志津川地区の住民を中田店に運ぶシャトルバスを月内にも運行予定。

みやぎ生協　黒松、六丁の目、榴岡、新田東、アイトピア、閖上の6店以外の42店で営業。うち、石巻渡波、石巻大橋、白石の3店は10時から店頭で販売。商品がなくなり次第終了する。白石店は7日10時から1階で店内営業を再開予定。

ダルマ薬局　手倉田、多賀城町前、荒巻セントラルプラザ、EBeanS、市名坂、ジョイフルタウンみたけ以外の63店で営業。

＊

岩手県では、県中小企業家同友会が陸前高田市竹駒町の三陸技能センターで「けせん〝朝市〟陸前高田」を開催中。生鮮食品や生花などを販売する他、被災した地元の飲食店が日替わりで出店。5日はタンタンめんで人気だった市内の中華料理熊谷が、マーボーどん、水ギョーザ、杏仁（あんにん）豆腐を販売。5日は10～15時、6日以降は10～13時。

入浴

営業時間や料金は特別態勢の場合が多く、急な休業や閉店時間繰り上げもある。

△岩手県▽
恵比寿湯＝久慈市八日町2☎0194・52・3383▽新山根温泉べっぴんの湯＝同市山根町下戸鎖4☎0194・57・2222▽健康ランド古墳ノ湯＝同市長内町☎0194・61・3232▽国民宿舎えぼし荘＝野田玉川☎0194・78・2225▽湯ったり館＝宮古市茂市☎0193・72・3800▽田の神湯＝同市田の神2☎0193・62・7771▽旭湯＝同市西町1☎0193・62・4668▽光山温泉旅館光山岳泉荘＝山田町大沢☎0193・82・2314▽嶋田鉱泉＝同町豊間根☎0193・86・2355▽花の湯＝釜石市野田町1☎0193・25・0268▽ホテルシーガリアマリン＝同市平田3☎0193・26・5111▽五葉温泉＝大船渡市日頃市町赤坂西風山☎0192・22・5400▽遊林ランド種山＝住田町世田米子飼沢☎0197・38・2323▽霊泉玉乃湯＝陸前高田市竹駒町上壺☎0192・55・6866

△宮城県▽
道の駅・上品の郷「ふたごの湯」＝石巻市小船越二子北下☎0225・62・3670▽友の湯＝気仙沼市古町1☎0226・22・2581▽芭蕉の湯いやしの館＝松島町松島石田沢☎022・353・8155▽ホテル松島大観荘＝同町松島犬田☎022・354・2161▽花ごころの湯新富亭＝同町松島垣ノ内☎022・354・5377▽長沼温泉ヴィーナスの湯＝登米市迫町北方☎0220・23・1126▽みなみかた温泉＝同市南方町☎0220・58・2789▽わくや天平の湯＝涌谷町涌谷☎0229・43・6330▽極楽湯名取店＝名取市田高原☎022・383・1126▽えびす湯＝塩釜市南町☎022・362・1257

△福島県▽
ゆ処高見＝南相馬市原町区高見町2☎0244・24・5668▽湯多利亭＝同市原町区南町3☎0244・23・4108▽極楽湯福島いわき店＝いわき市葉山2☎0246・76・1926▽吉野谷鉱泉＝同市平吉野谷南作☎0246・28・3288▽尼子湯＝同市平堂ノ前☎0246・23・3002▽いわき健康センター＝同市小浜町中ノ作☎090・4046・4126▽いわき湯本温泉の日帰り温泉（旅館6軒が日帰り入浴可。公衆浴場「みゆきの湯」「さはこの湯」も営業）＝いわき湯本温泉旅館協同組合☎0246・43・3017

△茨城県▽
鹿島セントラル天然温泉ゆの華＝神栖市大野原4☎0299・90・0261▽潮来ヘルスランドさくら＝潮来市島須賀☎0299・64・5858▽かんぽの宿潮来＝同市水原☎0299・67・5611

イベント

△岩手県▽

■ユニセフこどもバス遠足

日本ユニセフ協会は7、8の両日、県沿岸地域の未就学児から中学生までを対象に、動物園などで遊ぶ昼食付きの無料バス遠足を実施する。6日までに事前申し込みが必要。それぞれ定員40人で先着順。受け付けは岩手県北バス（☎0120・183・705）で10～17時。小学3年以下は保護者が同伴する。各コースは次の通り。

◆陸前高田市＝米崎小前▽高田小▽旧矢作中を出発し、7日は遠野ふるさと村、8日は宮沢賢治童話村へ◆大船渡市＝8日に大船渡中前▽大船渡北小入り口（上山交差点）▽大船渡市役所入り口▽猪川小前を出発し、宮沢賢治童話村へ◆大槌町＝吉里吉里小▽大槌バイパス北小前を出発し、7日は遠野ふるさと村、8日は宮沢賢治童話村へ

◆釜石市＝8日に釜石駅前▽ジョイフルタウン前▽小佐野駅向かい▽甲子中前を出発し、宮沢賢治童話村へ◆宮古市＝グリーンピア田老▽田老第一小▽宮古駅を出発し、7日は遠野ふるさと村、8日は盛岡市動物公園へ◆山田町＝7日は豊間根R45JA支所前▽大沢川向▽道の駅山田を出発し、遠野ふるさと村へ。8日は道の駅山田▽大沢川向▽豊間根R45JA支所を出発し、盛岡市動物公園へ

◆普代村・田野畑村＝8日に田野畑村役場▽普代村役場を出発し、いわて子どもの森へ◆岩泉町＝8日に小本駅▽岩泉竜泉洞温泉ホテル▽岩泉駅を出発し、いわて子どもの森へ◆野田村＝7日に野田駅▽野田村役場前を出発し、盛岡市動物公園へ◆久慈市＝7、8日とも侍浜小▽夏井駅前バス停▽久慈駅を出発し、いわて子どもの森へ

△宮城県▽

■亘理町「こどもの日」復興祭

5日11～15時、JR亘理駅前の悠里館北側広場。東京のベンチャー企業社長らが屋台を出し、たこ焼きや焼きそばなど約3000食の炊き出しをする。Mr.マリックさんやマギー司郎さんなどマジシャン5人が手品を披露。agreen事務局☎03・5545・3888

△福島県▽

■愛宕神祭礼奉納歌舞伎

12日18時開場、19時開演、檜枝岐（ひのえまた）村居平の檜枝岐舞台。江戸時代から約260年間、村人によって受け継がれてきた檜枝岐歌舞伎を露天の観客席で見物できる。源氏に敗れた奥州安倍一族の復讐（ふくしゅう）劇「奥州安達ケ原　袖萩祭文の段」を上演。無料。尾瀬檜枝岐温泉観光協会☎0241・75・2432

桜だより

地震の影響で立ち入り規制や夜間ライトアップの中止あり。カッコ内は満開予想日。

△岩手県▽
◆満開　高松の池＝盛岡市高松
◆もうすぐ満開　福泉寺（8～10日）＝遠野市松崎町駒木
◆もうすぐ開花　米内浄水場のシダレザクラ＝盛岡市上米内▽小岩井農場＝雫石町丸谷地

△宮城県▽
◆満開　塩釜神社のヤエザクラ＝塩釜市一森山

△福島県▽
◆満開　福満虚空蔵尊円蔵寺＝柳津町柳津
◆もうすぐ満開　観音寺川の桜（7～11日）＝猪苗代町川桁
◆咲き始め　亀ケ城公園＝猪苗代町古城跡
◆もうすぐ開花　大鹿桜＝猪苗代町西峯

■被災地へボランティアに行くには■

県外から個人や小規模グループのボランティアを受け付けている主な窓口は次の通り。被災地の災害ボランティアセンター（VC）に直接申し込む場合は、問い合わせの電話をする前にサイト情報の確認を。特記のない限り、宿泊場所や交通手段の提供はない。

<岩手県>

宿泊地や食料を確保しやすい内陸部を拠点に、沿岸部の被災地へ、送迎バスでボランティア派遣されている。

◆県VC　☎019・637・9711　県VCと盛岡市社協がそれぞれ同市発着便を、花巻市社協が同市発着便を不定期で運行している。募集は企画ごとにサイトで公開。県VC関連で、旅行会社が東京発着便の募集情報を掲載している

◆遠野市VC「遠野まごころネット」　☎0198・62・1001　遠野市発着便でほぼ毎日派遣し、登録受け付けも随時。事前申し込みが必要。体育館で宿泊可（寝袋などが必要）

<宮城県>

一部のVCが、県外からの個人ボランティアも直接受け付けている。

◆石巻市VC　☎0225・23・6015　テントサイト有り。要事前連絡。ゴールデンウイーク中は不可

◆東松島市VC　☎0225・83・5001　5人以上の団体は事前連絡を。ゴールデンウイーク中は不可

◆岩沼市VC　☎080・5949・7541　テント村有り。8人以上の団体は事前連絡を。

※兵庫県などが設置する「東北自動車道ボランティア・インフォメーションセンター」（☎022・377・3122）が、主に宮城県のボランティア情報を提供している。

<福島県>

一部のVCでは、県外からの個人ボランティアも直接受け付けている。

◆相馬市VC　☎0244・36・7827　土日祝日のみ。要電話確認

◆南相馬市VC　☎0244・24・1877　テント泊、車中泊は禁止。要電話確認

◆いわき市災害救援VC　☎0246・22・5501　要電話確認

<全国各地からボランティアバス>

全国各地の社会福祉協議会や市民団体、旅行会社などが各地発着のボランティアバスを企画している。募集期間や内容は各団体のサイトなどで公開される。主な団体は次の通り。

◆東京都発着　東京ボランティア・市民活動センター▽日本財団「ROADプロジェクト」▽ピースボート▽トップツアー▽名鉄観光◆栃木県発着　とちぎボランティアネットワーク◆埼玉県発着　富士見市社協▽行田市社協◆愛知県発着　愛知VC▽レスキューストックヤード◆三重県発着　みえ災害ボランティア支援センター

交通

■鉄　道

JR在来線の再開見込み。

△石巻線▽前谷地―石巻は今月中旬
△岩泉線▽茂市―岩泉
△山田線▽宮古―釜石
△大船渡線▽気仙沼―盛
△気仙沼線▽気仙沼―柳津
△石巻線▽石巻―女川
△仙石線▽高城町―石巻
△常磐線▽亘理―久ノ浜

JR以外の路線の状況は次の通り。

△三陸鉄道北リアス線▽宮古―小本、陸中野田―久慈で運行
△三陸鉄道南リアス線▽釜石―盛の全線で不通
△仙台空港アクセス鉄道▽名取―仙台空港の全線で不通。名取―美田園は7月末、美田園―仙台空港は9月末再開予定
△阿武隈急行▽槻木―角田と富野―福島で運行。角田―富野が今月中旬に再開し、全線で復旧予定

■バ　ス

主なバスの運行状況は次の通り。

△岩手県北バス▽☎0194・654・5814
盛岡―仙台、盛岡―郡山、盛岡―福島などで運行

△岩手県交通▽☎0194・654・7755
盛岡と大槌、大船渡、陸前高田を結ぶ長距離バスなどを運行

△ミヤコーバス▽☎0222・771・5310
仙台―気仙沼、仙台―石巻などで運行。9日からJR気仙沼線の志津川―気仙沼で振り替え輸送を実施。JR定期券・回数券を持っている人が対象

△JRバス東北▽☎0222・256・4512（仙台支店）　仙台―いわき、仙台―古川などで運行

△東日本急行▽☎0222・218・3131
仙台―登米、仙台―一ノ関などで運行

△仙南交通▽☎0222・242・1234　仙台空港―JR仙台駅で運行

△仙台空港鉄道▽☎0222・707・2235
仙台空港―JR名取駅で運行

△福島交通▽☎024・531・2706（福島支社）☎024・943・1651（郡山支社）
福島と会津若松、いわき、郡山、伊達―仙台などで運行

電話帳

●行方不明者相談ダイヤル
岩手県警　0120・801・471
宮城県警　022・221・2000（9～19時）
福島県警　0120・510・186（9～19時）

●通信・ライフライン
NTT災害用伝言ダイヤル　171
日本郵便　0120・2328・86（平日8～22時、土日祝9～22時）
東北電力　0120・175・366

●医療
<放射線被ばく相談>
文部科学省健康相談ホットライン　0120・755・199（9～21時）
放射線医学総合研究所相談窓口　043・290・4003（9～21時）
<その他>
日本医師会　03・3946・2121
日本糖尿病協会0120・151・721（平日9～18時）
被災がん患者ホットライン（国立がん研究センター）
紹介状あり＝03・3547・5130（平日10～16時）
紹介状なし＝03・3547・5293（平日9～18時）
てんかん支援ホットライン　054・245・5446
アレルギー支援ネットワーク　052・485・5208

●生活支援
日弁連電話相談0120・366・556（平日10～15時）
岩手弁護士会　0120・755・745（13～16時）
仙台弁護士会　0120・216・151（10～16時）
福島県弁護士会024・534・1211（平日14～16時）
全国社労士会連合会　0120・000・528（平日10～17時）
日本司法書士会連合会　0120・445・528（平日10～16時）
あしなが育英会　被災者専用　0120・77・8565（遺児らに特別奨学一時金を支給）
心の相談緊急電話　0120・111・916（13～22時。日本臨床心理士会など）
チャイルドライン　0120・99・7777（月～土16～21時、18歳までの子ども向け）
震災関連の悪質商法110番　0120・214・888（10～16時。国民生活センター。岩手、宮城、福島、茨城4県対象）

●省庁　※平日のみ
公営住宅等情報センター　0120・297・722（9～18時。全国の公営住宅などを紹介）
住宅の補修・再建（国交省）　0120・330・712（月～土）
行政相談（東北管区行政評価局）0120・511・556
金融相談（東北財務局）　022・721・7078
中小企業相談（経産省）　0570・064・350
農林水産業の被害相談（農水省）0120・355・567
年金の相談（日本年金機構）　0120・707・118※

●金融・保険　※平日のみ
ゆうちょ銀行　0120・108・420
住宅金融支援機構　0120・086・353
日本政策金融公庫　0120・154・505（土日0120・220・353）
預金口座照会センター（全銀協）0120・751・557※
災害地域生保契約照会センター（生保協会）0120・001・731※
そんがいほけん相談室（日本損保協会）0120・107・808または03・3255・1306

●移転した役所
<岩手県>
陸前高田市　エコタウン鳴石　0192・59・2111
釜石市　シープラザ釜石　0193・22・8253
大槌町　大槌小学校　0193・42・2111
<宮城県>
女川町　女川第二小学校　0225・54・3131
南三陸町　町総合体育館ベイサイドアリーナ　0226・46・2600
<福島県>
広野町　FDKモジュールシステムテクノロジーいわき工場　0246・43・1331
楢葉町　会津美里町本郷庁舎　0242・56・2155
富岡町　郡山・ビッグパレット　0120・336・466
川内村　郡山・ビッグパレット　024・946・8828
大熊町　会津若松市追手町第2庁舎　0242・26・3844
双葉町　旧埼玉県立騎西高校　0480・73・6880
浪江町　二本松市東和支所　0243・46・4731
葛尾村　会津坂下町・川西公民館　0242・83・2651
★双葉郡支援センター　0120・006・865
上記8町村の避難住民向け。8～22時。

希望新聞

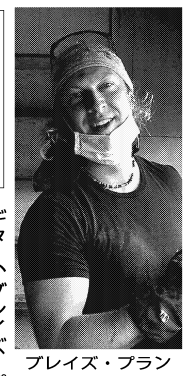
避難所で野球練習

千代川知君(左)と菊地由樹君＝県立山田高グラウンドで

岩手

避難所にもなっている県立山田高のグラウンドにいた同校3年、野球部の千代川知君(17)「部活がない日も一緒に避難所で暮らしている部員とティーバッティングやキャッチボールをしています。避難所では配膳などのボランティアをしていて、野球部員がいると気付いたOBの人も練習に交じってくれるようになりました。1年生も入部して18人になり、実戦的な練習もできるようになりました。春季県大会ベスト8が目標です」

宮城


ブレイズ・プラントさん＝石巻市で

石巻市で家屋の泥をかき出すボランティアに励んでいたカナダ出身で仙台市在住のロックバンド「モンキーマジック」のボーカル兼ギター、ブレイズ・プラントさん(31)「自宅は損壊したけれど、互いに助け合うのは人として当たり前だと思います。被災地はまだがれきでいっぱいですが一歩一歩前進しています。つらい状況の中で笑顔を絶やさない日本人の姿を見ると勇気づけられ、ボランティアをやめられません」

福島

福島市のあづま総合運動公園体育館に葛尾村から家族5人で避難している滋賀千賀子さん(61)「三春町の仮設住宅に入居できることになりましたが、寝たきりのばっぱ(姑)のことが心配。自宅にいる時はお医者さんが往診に来てくれたけど、三春町では病院や施設で面倒みてもらえるか分からない。仮設住宅は、ばっぱのベッドを置いただけで埋まってしまって私は外に寝ないといけないかも。避難所生活は何の心配もないので、ここにいたい気もします」

(左から)夫の滋賀邦雄さん、千賀子さん、長男の一雄さん、五男の幸夫さん＝福島市で

声 被災地から

原爆と原発は別と思っていたが…

「原発は、大量破壊兵器の原爆とは別だと思っていました。しかし制御不能に至った原発を目の当たりにすると、認識を変えざるを得ません」――。広島・長崎の被爆者の多くが放射線被害に長年苦しめられた自らの経験を重ね、今回の原発事故に懸念を抱いている。広島の被爆者で福島大名誉教授の星埜惇(じゅん)さん(83)は、福島市内の自宅で毎日新聞の取材に対し、福島第1原発の事故への憤りを語った。【広岩近広、写真も】

星埜さんは旧制高校1年生だった17歳で被爆した。広島県呉市の自宅で広島の空をキノコ雲が覆っているのを目撃、翌早朝から広島市内で友人を捜して回った。一面の焼け野原。燃え続ける赤い火。異臭。嗚咽(おえつ)。死体の山々。星埜さんが知っている広島は消えていた。

捜し当てた友人は鼻孔と唇が炭化して水を飲むこともできなかった。全身にわくウジ虫を取り除くしかすべがなく、むなしい思いで見送った。

多数の市民の遺体を焼く作業にも従事した。この作業は凄絶(せいぜつ)をきわめた。約5畳、深さ約3㍍の穴を掘り、男女の区別のつかない遺体を次々に入れた。まとまると鉄板で覆って重油をかけて火をつける。この繰り返しだった。「遺体は男女の区別もつかないほど無残で、人間の尊厳などありません」

戦後は白内障と直腸がんの後障害に苦しんだ。現在は福島県原爆被害者協議会事務局長を務める。福島第1原発事故のあおりで捜索が進まない地域の被爆者の安否を心配している。県内の協議会会員は約90人。原発周辺の自治体に住む十数人と連絡が取れないという。

捨てられた尊厳教訓に
「人の命守る気概を」

広島の被爆者で福島大名誉教授 星埜惇さん(83)
原発事故への憤りを語る星埜惇さん＝福島市内で

星埜さんは「東京電力、政府、原子力安全・保安院には非常に腹が立ちます。安全管理が信じられないほど安易ですよ、事故後の対応を含めて。人間の命を守るのだという真剣な気概が感じられない」と憤る。「今回の原発事故を教訓に、エネルギー政策のあり方、私たちの生活のあり方を見直さなければならないと思います」

森内3連勝か 羽生が反撃か

第69期名人戦 あすから第3局

羽生善治名人(40)に森内俊之九段(40)が挑戦する第69期名人戦七番勝負第3局(毎日新聞社、朝日新聞社主催、宮崎青年会議所、宮崎市後援)は6、7日、宮崎市のフェニックス・シーガイア・リゾートで行われる。

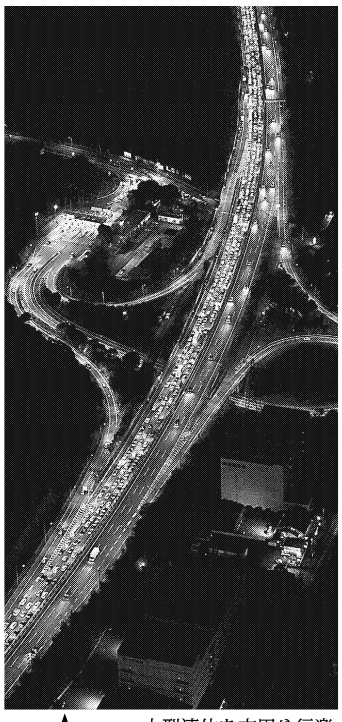
第1局、第2局で森内が連勝し、迎える第3局。4期ぶりの返り咲きを目指す森内が一気に3連勝を飾るか、4連覇を目指す羽生が1勝を挙げて反撃に移るか。

第3局は森内の先手番で、第1局で横歩取りの戦型を選んだ羽生の作戦が注目される。

対局は6日午前9時開始。午後6時半に指しかけとなり、7日に指し継がれる。持ち時間は各9時間。

立会は加藤一二三九段、解説は戸辺誠六段、記録は伊藤和夫三段がつとめる。【山村英樹】

Uターンラッシュで渋滞する東名高速道路秦野中井ＩＣ付近＝神奈川県中井町で4日午後7時7分、本社ヘリから三浦博之撮影



Uターン長い車列 ラッシュ始まる

大型連休を古里や行楽地で過ごした人たちのUターンで各地の高速道路は4日、上り線を中心に渋滞した。道路の混雑は5日も続き、鉄道や空の便もUターンラッシュのピークを迎える見通し。

日本道路交通情報センターによると、4日午後6時半現在の渋滞状況は、名神高速道路の八日市インターチェンジ(IC)＝滋賀＝付近を先頭に46㌔、東北自動車道の白石IC(宮城)付近を先頭に39㌔、中央道の小仏トンネル(東京―神奈川)を先頭に30㌔など。下りも午前中、東名高速の伊勢原バス停(神奈川)付近を先頭に40㌔渋滞した。

東北新幹線や東海道・山陽新幹線は4日、目立った混雑はなかった。JR東日本によると、5日は上り列車の大半で指定席が予約で満席。各地から羽田や大阪に向かう国内線も多くが既に満席になっている。

GWにぎわう日本三景「松島」
「予想以上の人出」

東日本大震災の津波被害を受けた宮城県松島町の観光地で、日本三景の一つとして知られる「松島」がゴールデンウイーク(GW)の4日、多くの観光客でにぎわった。地元関係者らは「例年より少ないものの、予想以上の人出。皆さんに感謝したい」と話している。

松島一帯は、3月11日の震災で海岸沿いの土産物店や飲食店が床上浸水するなどの被害を受け、観光の目玉となる遊覧船も4月末まで運航できなかった。まだ鉄道は復旧していないが、家族連れなどが車で訪れている。

遊覧船を運航する「松島島巡り観光船企業組合」の伊藤章理事長(62)は「乗船客は昨年の1割ぐらいかと思っていたが、8割に達している。約260の島々に守られ、津波被害が最小限だったので安心してお越しいただけている」と話す。

伊達政宗ゆかりの瑞巌寺にも4月末に比べ約2倍の拝観者が訪れている。千葉洋一総務課長は「地震でご本尊が倒れたが、政宗公の位牌は無事だった。復興を支援しようと来ていただいているのだと感謝している」と安心した様子だった。

日本三景・松島の遊覧船に乗船する観光客ら＝宮城県松島町で4日午前11時半

カキ料理店を営む菅原喜代子さん(65)は「養殖していたカキは全滅し、店も浸水したが、島々に守ってもらった。恩返しのつもりで営業している」と話した。千葉県富里市から家族5人で訪れた会社員、森田和也さん(42)は「10年前に来たときと変わっていなかった。子供たちもカモメにえさをやったり、楽しそうだった」と語った。【伊藤一郎、写真も】

三陸物語 Sanriku Monogatari

釜石の漁師 菊池忠彦さん ④
「長女 絶対生きでら」

大津波から一夜が明けた3月12日午前5時半過ぎ。菊池忠彦さん(39)が避難した国土交通省釜石港湾事務所から望む釜石湾に、朝の光が差した。

屋上に上がると、廃墟が広がり、生家があった方角の岩肌に黒い津波の跡が見える。ぼうぜんとしてスリッパをはいて外に出たら、汚泥に足を取られた。

中に戻り、備蓄品のレトルトカレーを分け合っていると、がれきの間を歩く人影が見えた。「家族を捜す」。病院に連れて行くという職員の制止を振り切り、午前7時過ぎに港湾事務所を後にした。

「とりあえず、嫁の実家を目指したのさ。海から遠いし、家族がそこさ避難したんでねがど思ってね」

拾った棒をつえに、足を引きずりながらがれきの間の踏み跡をたどると、菊池さんが一命を取り留めた鉄橋が見えた。その上を被災した人々がぞろぞろ歩いている。

階段を上がって鉄橋を歩くと、向かいから漁師仲間が近づいてくる。さらに近づくと、隣を歩く妻の姿が目に飛び込んできた。

「つえをついでだし、嫁はオレだとすぐには分からなかったみたいだ。ああいう時は、言葉はいらねえね。黙って顔を見合わせて、うなずいでだった」

妻(39)は津波に追いかけられるように車で逃げたという。中2の長男と小学校に上がる前の次女も無事で、64歳の母親も避難所に逃れたと聞かされた。

だが、高2の長女の行方が分からない。地震直後に、妻の携帯に入った長女からの電話は「港のそばにいる」と告げて、唐突に切れたという。

「絶対生きでら」。夫婦は互いに言い聞かせながら、長女が消息を絶った辺りに向かって歩き出した。【萩尾信也】

◇

「三陸物語」は火～土曜日に掲載します。

港湾事務所から望む釜石湾に朝日が昇った＝岩手県釜石市で3月12日、澤田幸三さん撮影

Q&A

Q 消費者金融の借金やクレジット残高の支払いは

A 返済猶予などに応じてもらえる場合も

消費者金融への借金やクレジット残高がある被災者の中には、支払いに不安を抱いている人もいると思います。金融庁と経済産業省は各業界団体に対し、被災者への配慮を文書で要請しました。日本貸金業協会や日本クレジット協会は、貸金業者と信販会社に要請内容を周知し、「場合によっては返済猶予もあり得る」としています。

被災して支払いが難しいところへ督促が来た場合、業者側に意思表示することが大切です。返済猶予などが決まれば、信用情報機関は滞納扱いにしないことになっています。滞納履歴として残ることはないので、今後も利用できます。

全国クレジット・サラ金被害者連絡協議会(03・5207・5507)によると、95年の阪神大震災では、仮設住宅に入居した途端に、「地震は関係ない」と業者が取り立てに来たケースがありました。今回はまだ、返済を巡るトラブルは表面化していませんが、本多良男事務局長は「仮設住宅への入居が本格的に始まれば、問題が出てくる可能性がある。困った場合は相談してください」と呼び掛けています。

業界団体も相談ダイヤルを開設しています(貸金業協会0570・051・051、クレジット協会0120・623・456)。【大久保昂】

人とのつながり大切に

遠くの被災地より

阪神大震災で神戸市の自宅アパートが全壊し、近所に住んでいた孫(当時4歳)と次男の嫁(同24歳)も亡くしました。岡山県笠岡市の市営住宅に避難し、神戸に戻りたいと思い続けました。13年後にようやく帰ってくることができました。

震災当時、小学6年の三男と暮らしていました。三男が笠岡の中学に入学して間もなく、神戸市から市営住宅当選の知らせを受けました。しかし、頻繁に生活環境が変わることが、子どものストレスになるのではと心配でした。笠岡に残りましたが、この判断を後悔していません。

阪神大震災後、岡山県に避難し08年に神戸に戻った山田郁子さん(63)＝神戸市中央区

神戸から避難してきた人が同じ市営住宅にいて、「早く帰ろうね」と励まし合いました。被災者同士、気持ちが通じました。市営住宅で新しい友だちもできました。今でも連絡を取り合い、「戻っておいでよ」と言ってくれます。多くの人の支えで頑張れました。

東日本大震災の被災地では原発の放射性物質漏れも心配です。古里を離れて、帰りたくても帰れない人もいるでしょう。なじみの薄い避難先で不安かもしれませんが、友だちができれば住みやすくなります。人間関係が大切だと思います。

私が神戸に戻れたのは、数カ月に1度、電話で公営住宅の募集情報を教えてくれた兵庫県の嘱託職員さんのおかげです。この電話がなかったら「見放された」と思っていたかもしれません。被災地の行政は、遠くに避難した被災者を忘れないでほしいです。【聞き手・川口裕之】

◆JR大阪駅新ビル開業

新しいJR大阪駅と南北の駅ビルで構成する「大阪ステーションシティ」が4日、全面開業した。駅舎は約30年ぶりのリニューアルで5代目となり、一日約85万人が乗降する西日本最大のターミナルが生まれ変わった。北側に新築した「ノースゲートビルディング」に入るJR大阪三越伊勢丹などがオープンし、初日から約50万人の来館者でにぎわった＝写真。

同シティは、ホーム上空に東西180㍍、南北100㍍の巨大ドーム屋根、その下に南北のビルをつなぐ橋上駅舎や連絡通路を設置。改札内のコンコースを広げ、エスカレーターやエレベーターを増設したほか、8カ所に広場も作った。

ノースゲートビルディングには、他に専門店街「ルクア」、関西最大級の映画館などが入る。既存ビルを増床したサウスゲートビルディングは、テナントの大丸梅田店が売り場を拡大した。

初代大阪駅は1874(明治7)年開業。今回の工事は04年から着手し、今年3月にサウスゲートビルディングが開業、4月に橋上駅舎の運用が始まった。

総事業費は約2100億円。

第3106回ナンバーズ数字選択式全国自治宝くじ(4日・カッコ内は口数)

ナンバーズ4　4012
ストレート 75万700円(28)
ボックス 3万1200円(481)
セット・ストレート 39万900円(85)
セット・ボックス 1万5600円(2153)

ナンバーズ3　807
ストレート 11万4300円(72)
ボックス 1万9000円(367)
セット・ストレート 6万6600円(145)
セット・ボックス 9500円(737)
ミニ・下2ケタ 1万1400円(333)